

東北地方一般情報 東北支所

○宮城縣代用品研究會生る(七月二十六日)

最近の内外情勢は愈々緊迫し、高度國防國家の建設を目指す自給自足經濟の確立と、日本的性格の科學技術の確立は、我國に於ける刻下喫緊の要務である。此の要請に應じ宮城縣に於ては各種指導機關並代用品協會と連繫して、國策代用品工業の振興發達及代用品の研究と、これが製品の使用普及を圖る目的から代用品の研究會を慫慂して來たが、水産、林産資源活用の研究者を初めとして各種の指導機關と業界研究者が一體となつて宮城代用品研究會が水害對策の多忙の中に生れた。

此の日商工省より白井調査課長、小池事務官、代用品協會の中村副會長、池谷普及課長一行が、鐵道不通を推して新瀉山形廻りて來仙、東北帝大より柴田、大澤、森岡の三助教、當所よりは寺坂支所長安倍技師が出席した。

此の研究會の主なる事業は

- 一、代用品工業の振興發達に關する調査研究及製作指導
 - 二、代用品の普及獎勵及販賣輪旋
 - 三、展覽會、展示會、品評會、講演會、座談會、映畫會等の開催
 - 四、代用品全般に關し意見の具申
 - 五、其他本會の目的を達成するに必要な事業
- 以上の様な事業計畫で今後活潑な運動が行はれる事になつた。殊にこの研究會の強味とも特長とも目する一點は東北の豊富なる資源、この内でも林産資

源、水産資源、地下資源等の活用が期待さるゝ譯でこれに加ふるに東北帝大、工醫指導所、高等工業等の研究機關の多き事は技術的にも恵まれて居る。かゝる點から必ずや國策に寄與する具體的現れが生ずる事と期待される。尙宮城縣に於ける代用品研究の概要を記載して見ると次の様であり、當日この研究者が全員出席して各専門別技術公開があつた。

昭和十六年七月末現在の同縣に於ける代用品の品名、研究者及その概要は左の通りである。

- 一、鯨革 東北振興皮革株式會社(陸生哺乳動物革ノ代用品ヲ得ントスルモノニシテ袋物靴甲革用ハ完成シ目下靴底革用研究中) 二、鯨革製品 宮城縣皮革製品工業組合(鯨革ヲ使用シ靴、ランド帶革製造完成) 三、鯨革 東北振興皮革株式會社及宮城化學工業所(水産動物革ニ依ル靴底其他ノ研究) 四、魚膠 東北振興皮革株式會社(鯨革原料トスル工業用液狀粉狀膠ノ製造研究) 五、鯨セラチン膠 宮城化學工業所(鯨革原料トスル寫眞、醫藥、工業用高級セラチン膠ノ製造研究) 六、振興ライト 東北振興ゴム株式會社(ベークライト系合成樹脂粉及製品ニシテ原料粉ニス電氣器具部分品ノ製造) 七、合成ゴム 三馬ゴム工業合資會社(多硫化系合成ゴムノ研究ニシテ原料製造ヲ主トスルモ耐油耐酸性ニ當ム) 八、代用ゴム種 東北藤田工業株式會社(蕪荊ヲ主原料トスルゴム種代用品ノ製造) 九、擬革 三馬ゴム工業合資會社(絹屑、ゴムヲ原料トスル擬革ノ研究) 一〇、建築用竹筋竹管其ノ他 日本竹工所(建

局より左記研究生六名入所す。仙臺逓信局松井慶三、東京都市逓信局今井勝治郎、東京地方逓信局中澤滋、名古屋地方逓信局笹山義一、大阪地方逓信局西村廣行、廣島地方逓信局吉村春雄。

十六日 織維關係設備調査の爲鈴鹿技手東京市へ、マグネシウム合金鑄造研究用金型製作完了す。

廿一日 副業計劃打合の爲支所長仙臺市役所へ。

廿二日 國井所長午後三時四分着仙來所、支所長事業報告の後引續き諸般打合あり。

廿三日 午前十時事業會議開催、本所長を中心に左記事項打合をなす。一、生活展 二、十六年度事業計畫 三、其他。

廿四日 本所長を圍み支所長、兩課長にて事業打合をなす。一、マグネシウム研究 二、資料室並陳列室計畫 三、其他。

廿六日 商工會議所に於ける宮城縣代用品協會發會式に支所長、安倍課長參加、式後商工省保官、代用品協會中村氏及關係官にて懇談會を開催せり。生活展スケッチ第三回最後檢討をなす。

廿八日 國民生活用品展東北關係官打合會議計畫に就き協議す。研究生、盛岡高等農林生徒、高平傳雄入所。大阪、名古屋、静岡、仙臺、札幌逓信局技術者視察來所。

廿九日 岩手縣工業試驗場長小川技師及商工課中川技手來所、「東北展」開催に關し打合をなす。一、現況報告 二、出品者へ趣旨の徹底化 三、會期中の行事 四、審査官の申請 五、其他。

廿一日 午後本所企劃部高村囑託、小池技師來所、諸般打合後工場視察す。

業用鐵材々料代用品製造) 一一、潤滑油 鹽釜オイル工業所(鱒油ヨリ潤滑油製造) 一二、燒入油 縣立工業學校長佐藤吉文(鱒油ヨリ燒入油製造研究中) 一三、不銹鋼 東北帝大助教榮田仁作(ニッケルクロームヲマンガン硅素ニテ作用シ不銹鋼ヲ製造セントスル研究中) 一四、高速度鋼 東北帝大助教大澤興美(アセチレン酸素火焰ヲ用ヒコバルトヲ含マザル高速度鋼ノ研究) 一五、耐酸合金 東北帝大助教教授森岡通(ニッケル基耐酸合金ニ代用スベキ鐵、クローム、銅、アンチモン合金ノ研究) 一六、

【寄贈・交換圖書】

寄贈圖書
警視廳東京府公報 警視廳東京府日本百貨店組合調査彙報 同組合日本讀書新聞 同新聞社 東洋硝子新聞 同新聞社 商工通報 商工行政社 東京の貿易 官界公人社 國策研究 科學主義工業社 生産青年 同會議所 佐賀商工會議所月報 同會議所 大阪商工時報 大阪商工協會 長崎商工會議所經濟月報同會議所圖書月報 丸善株式會社 イタリヤ イタリヤの友の會 博展 日本博覽會協會 (Takara) 丸善株式會社 Maruzen Announcement of New Books 同右 The Piper 三越洋書部 新刊月報 三省堂 高松高商論叢 高松高等商業學校 貿易局通報 商工經濟研究室 登載匠匠公告書 大區府輸出染織意匠協會

宇都宮商工會議所々報 同會議所昭和十五年度兵庫縣神戸工業試驗場業務成績報告 同試驗場
交換圖書
藏前工業會誌 藏前工業會 貿易週報 月刊工業新聞社 住宅 住宅改良會 建築世界 新建築社 日本工業技術 日本工業新聞社 航空朝日 朝日新聞社 色材協會誌 色材協會 工研 京都市工業研究所 建築と社會 日本建築協會 農村工業 農村工業協會 家具誌報 日本工藝協會 發明 帝國發明協會 工業獎勵 東京府立工業獎勵館 東京工藝 東京府工藝協會 塗料の魁 東京府工藝協會 朗 塗料の魁社出版部 建築學研究 日本電建株式會社出版部 觀光 日本建築協會 月刊民藝 日本民藝協會 工作研究 日本手工研究會

汎工藝 生産と配給 東京玩具商報 南洋水産 塗料の研究 家具日本 化學工藝 中南米 新亞細亞 物價協力時報 會館藝術 贈物 NIPPON 工業と工業 科学主義工業 熔接協會誌 造形教育 貿易

汎工藝社 生産と配給社 同商報發行所 南洋水産協會 關西ベイント株式會社大阪出張所 家具指物新聞社 化學工藝社 日本中南米輸出入組合聯合會 南滿洲鐵道株式會社 社東亞經濟調查局 中央物價統制協力會議 日本鑄物協會 朝日新聞社會事業團 國際報道工藝株式會社 日本工學會 春鳥會 科學主義工業社 熔接協會 教育美術振興會 日本貿易協會

後記

商工省主催の國民生活用品展も目眩に迫つて來ました。時局下有意義なる出品の集まる事を期待するものです。

暗雲低迷の國際情勢を反映して、工藝品の一方の目標たる「貿易」の前途も愈々多難となり、藝の工藝品輸出振興展の海外展示先も別掲の通りメキシコを中止すると聞いて居ります。輸出工藝品の將來については云ふべからざる困難が横たはつてゐるものと豫期せねばなりません。併し乍ら輸出と稱ふるも生活用品と銘打つても、工藝品の本質には些かの浮動もあるべきではありません。その意味に於て今月は貿易展の本所出品物の工作方面について各擔當者の試作報告を詳しく發表しました。(H)

工藝ニュース・毎月一日發行

昭和十六年 九月 五日 印刷
昭和十六年 九月 十日 發行

編輯 商工省工藝指導所
東京市墨田區西巢鴨一ノ三七七
電話大塚(86)七六三—七六五

印刷者 倉橋 藤 治 郎
東京市牛込區原町一ノ六八
會員番號 第二一〇〇二七號

發行所 工業調查協會
東京市神田區旅籠町三ノ四

賣捌 工業雜誌株式會社
東京市神田區旅籠町三ノ四
振替東京二七二四番
電話下谷二八三・四八一七番
日本出版配給株式會社
東京市神田區淡路町二ノ九

配給元

頒價 一部 三十五錢(送料二錢)
一年(前金)四圓十錢(送料不要)